

MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社

2023年3月期第2四半期 決算説明会資料

発表日:2022年10月28日

出席者

代表取締役社長

黒沢 光照

常務取締役 上席執行役員

角 芳尋

執行役員 経理部長

北谷 明雄

IR広報・ESG推進室長

須田 庸夫

目次

2023年3月期第2四半期 全社実績

1. 2023年3月期第2四半期 全社実績
2. 2019～23年3月期第2四半期 全社実績推移
3. 四半期別全社実績推移
4. 営業利益の増減要因
5. その他の財務情報
6. 戦略的投資の実績
7. 経済指標

2023年3月期第2四半期セグメント実績

8. 2023年3月期第2四半期 セグメント実績
9. 四半期別セグメント実績推移
10. インダストリアル機器部門 2023年3月期第2四半期実績
11. インダストリアル機器部門 四半期別実績推移
12. オフィス機器部門 2023年3月期第2四半期実績
13. オフィス機器部門 四半期別実績推移
14. HCR機器部門 2023年3月期第2四半期実績
15. HCR機器部門 四半期別実績推移
16. 四半期別海外地域別売上高推移
17. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況
18. サステナビリティに関する取り組み

2023年3月期 業績予想

19. 2023年3月期 全社計画
20. 2023年3月期 セグメント計画
21. 2023年3月期 サブセグメント(事業別)計画
22. 配当政策 配当性向と純資産配当率
23. 配当政策 1株当たり配当金

参考資料

24. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
25. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
26. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)
27. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
28. 国内・海外機工品事業 製品内訳
29. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2023年3月期第2四半期 全社実績

2023年3月期第2四半期 全社実績

■為替レート

(円)	当期	前期	計画
1ドル	131.58	109.92	125.75
1ユーロ	138.20	131.18	135.88

(単位:百万円、%)

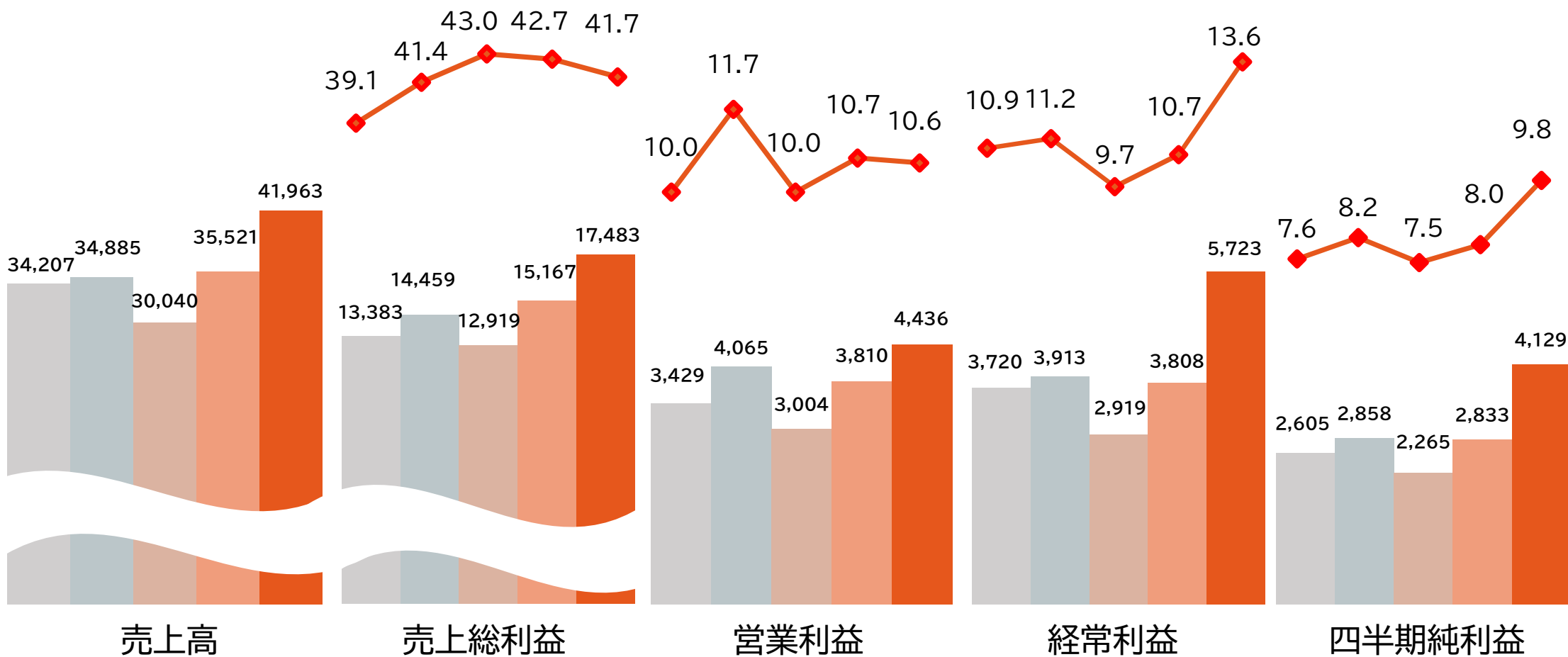
	当期実績	前期実績	増減率	上期計画※	達成率
売上高	41,963	35,521	+18.1	41,300	101.6
売上総利益	17,483	15,167	+15.3	—	—
同率	41.7	42.7		—	
営業利益	4,436	3,810	+16.4	4,380	101.3
同率	10.6	10.7		10.6	
経常利益	5,723	3,808	+50.3	4,770	120.0
同率	13.6	10.7		11.5	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,129	2,833	+45.7	3,450	119.7
同率	9.8	8.0		8.4	
一株当たり四半期純利益	87.29	59.56	—	72.93	—

※2022年7月29日修正計画

2019~23年3月期第2四半期 全社実績推移

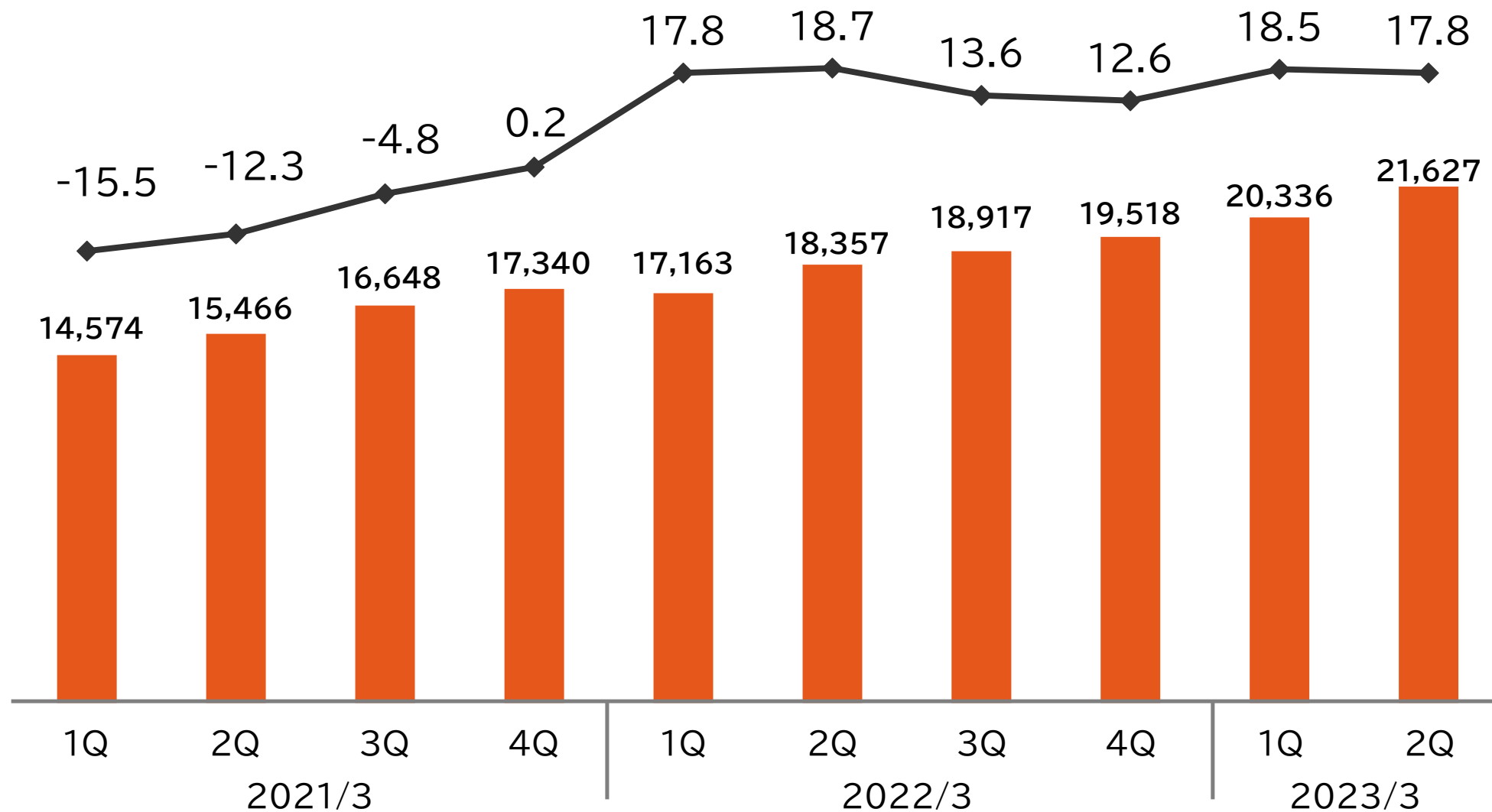
2019年3月期2Q
 2020年3月期2Q
 2021年3月期2Q
 2022年3月期2Q
 2023年3月期2Q
 同率

(単位:百万円、%)



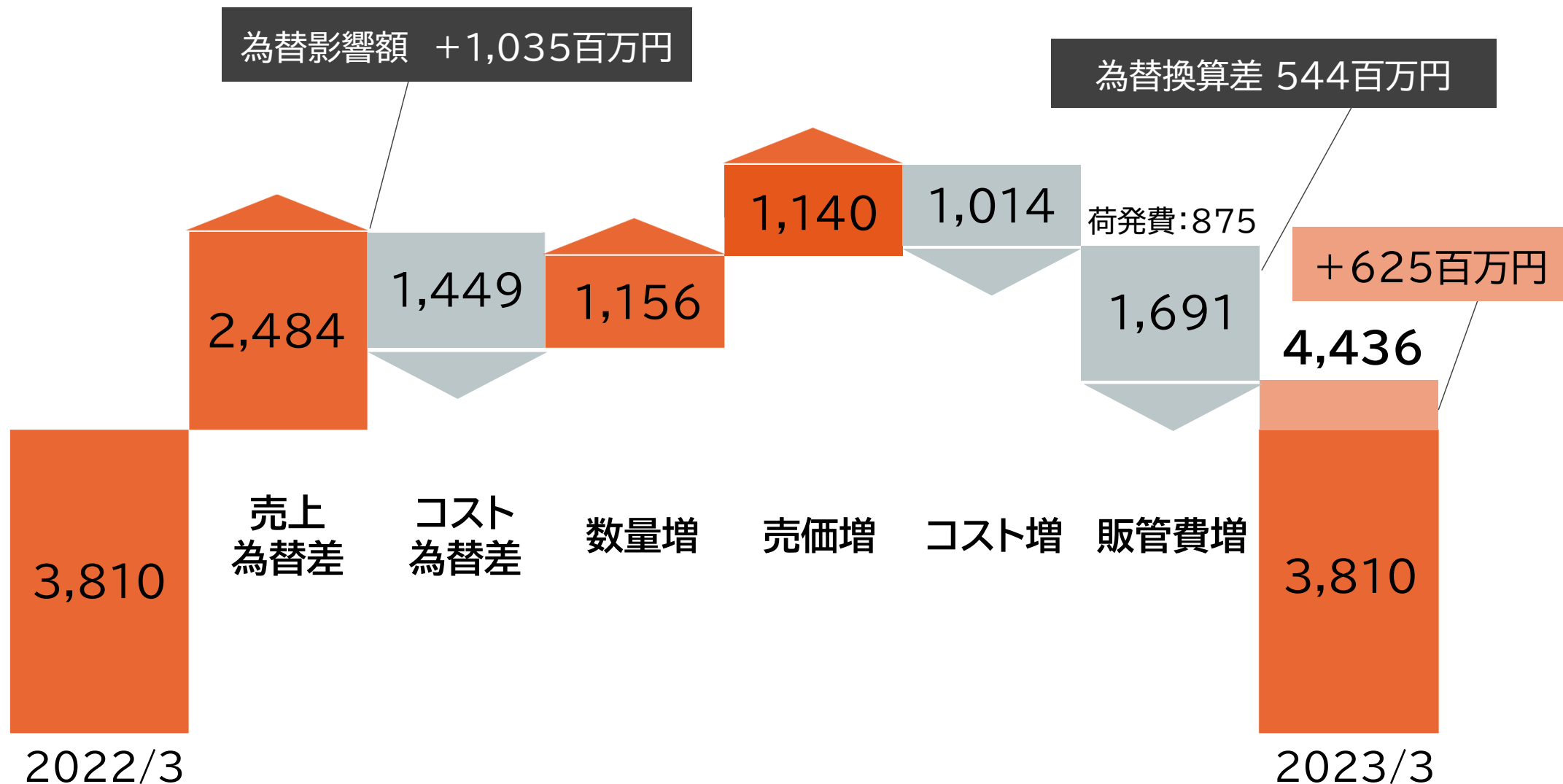
四半期別全社実績推移

■ 全社 売上高 ◆ 全社 売上高前年同期比伸率 (単位:百万円、%)



営業利益の増減要因

(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	2023年3月期2Q	2022年3月期2Q	前年差
営業外収支	1,287	△2	+1,289
営業外収益(為替除き)	206	162	+43
営業外費用(為替除き)	△46	△50	+4
為替差額	1,126	△114	+1,241
特別損益	△27	△10	△16
特別利益	13	2	+10
特別損失	△40	△12	△27

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	2023年3月期2Q	2022年3月期2Q	2023年3月期 年間計画	進捗率
設備投資	1,227	2,674	4,464	27.5
減価償却費	1,453	1,339	3,161	46.0
研究開発費	1,760	1,604	3,852	45.7

重点方針

重点事業の拡大と新規事業の創出への積極的な投資により、事業成長につなげる

中長期的な事業成長に向けた戦略的投資

3年間累計投資額
(2022/3~24/3) 36億円

(単位:百万円)

2023年3月期	2Q実績	通期計画	進捗率
営業インフラ投資	146	500	29.2%
デジタル技術への投資	57	200	28.5%
開発戦略投資	84	500	16.8%
コーポレート・コミュニケーション投資	5	100	5.0%
合計	292	1,300	22.5%

国内

経済社会活動の正常化によって、緩やかな回復基調が継続。
当社インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数は、一部前年同月比割れとなったものの、賃貸・分譲を中心に底堅く推移。

海外

新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、回復基調を維持。
米国は、住宅ローン金利や建設コスト上昇の影響で住宅着工の減速が続いたものの、建設投資が堅調に推移。
欧州では、大規模公共投資をはじめとする建設需要が継続し、欧米の建築・土木現場は依然として活況。

参考指標

新設住宅着工戸数

・2022年1月～6月は前年同期比+1.6%
(持家△8.0%、賃貸+7.5%、分譲+5.0%)

→機工品事業(木造系)、住環境機器事業にプラス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

・2021年10月～2022年3月は前年同期比+15.2%
(事務所+40.3%、店舗△9.3%、工場+34.3%、倉庫+29.3%)

・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は若干の不足状態で推移
→機工品事業(コンクリート系)にプラス影響

為替

・1ドル131.58円、1ユーロ138.20円
(前年:1ドル109.92円、1ユーロ131.18円)

・売上為替感応度(年間換算)
米ドル190百万円、ユーロ80百万円

・営業利益為替感応度(年間換算)
米ドル30百万円、ユーロ80百万円

米国の新設住宅着工戸数

・2022年7月の年率換算値は137.7万戸、8月は156.6万戸、
9月は143.9万戸
(前年7月:156.2万戸、8月:158.0万戸、9月:155.5万戸)

2023年3月期第2四半期セグメント実績

2023年3月期第2四半期 セグメント実績

(単位:百万円、%)

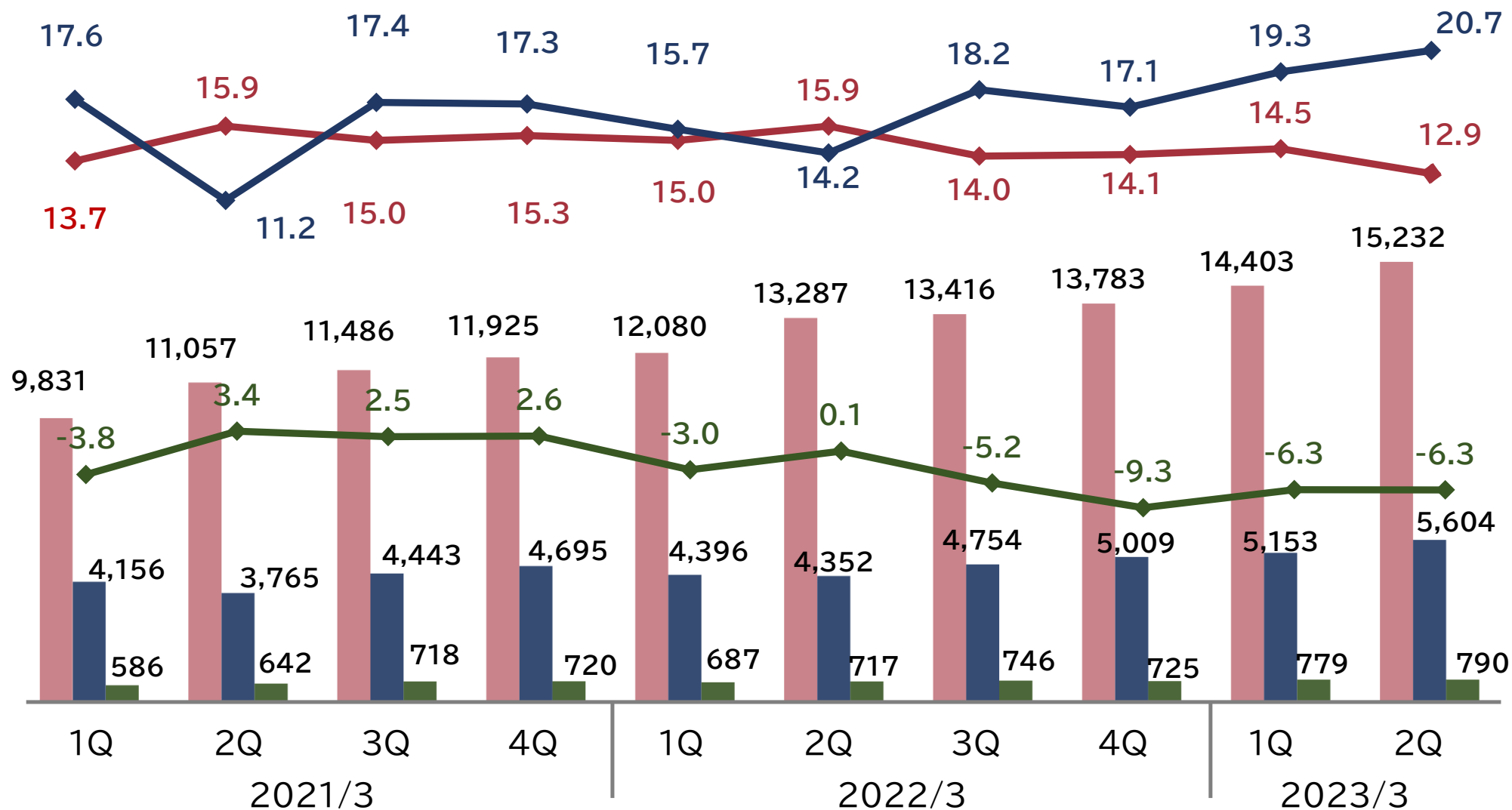
	当期実績	前期実績	増減率	上期計画※	達成率
インダストリアル機器部門					
売上高	29,636	25,368	+16.8	29,450	100.6
セグメント利益	4,054	3,922	+3.4	4,360	93.0
セグメント利益率	13.7	15.5		14.8	
オフィス機器部門					
売上高	10,758	8,749	+23.0	10,280	104.7
セグメント利益	2,155	1,309	+64.6	1,860	115.9
セグメント利益率	20.0	15.0		18.1	
HCR機器部門					
売上高	1,569	1,404	+11.8	1,570	99.9
セグメント利益	△ 98	△19	-	△90	
セグメント利益率	△ 6.3	△1.4		△5.7	
調整額	△ 1,674	△1,401	-	△1,750	95.7
全社計					
売上高	41,963	35,521	+18.1	41,300	101.6
営業利益	4,436	3,810	+16.4	4,380	101.3
営業利益率	10.6	10.7		10.6	

※2022年7月29日修正計画

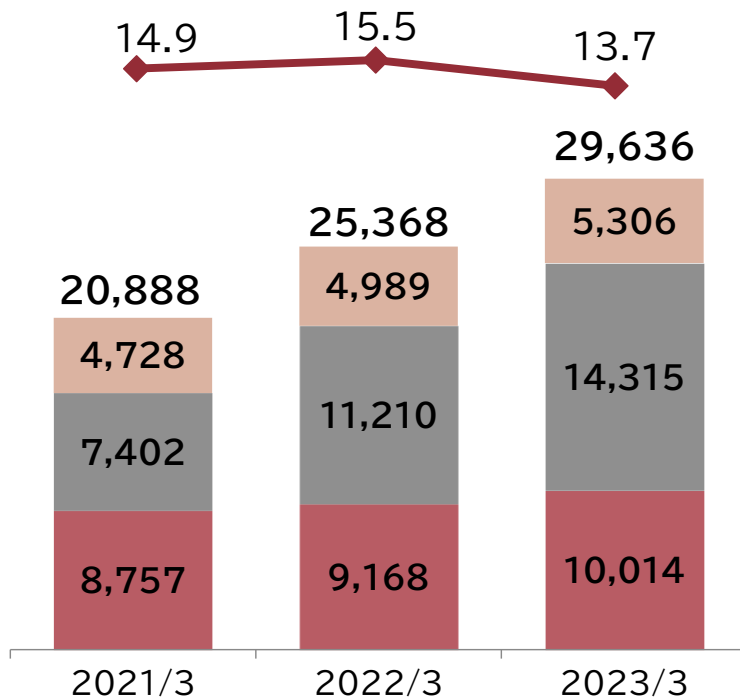
四半期別セグメント実績推移

■ インダストリアル機器部門 売上高
 ■ オフィス機器部門 売上高
 ■ HCR機器部門 売上高
— インダストリアル機器部門 セグメント利益率
 — オフィス機器部門 セグメント利益率
 — HCR機器部門 セグメント利益率

(単位:百万円、%)



■ 国内機工品事業 ■ 海外機工品事業
■ 住環境機器事業 — セグメント利益率
 (単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイア」



コンプレッサ 新モデル

国内機工品事業

- ▶ 太い鉄筋への結束用途に対する大口径機の提案が進んだことなどから、鉄筋結束機「ツインタイア」とその消耗品の販売が好調に推移しました。

海外機工品事業

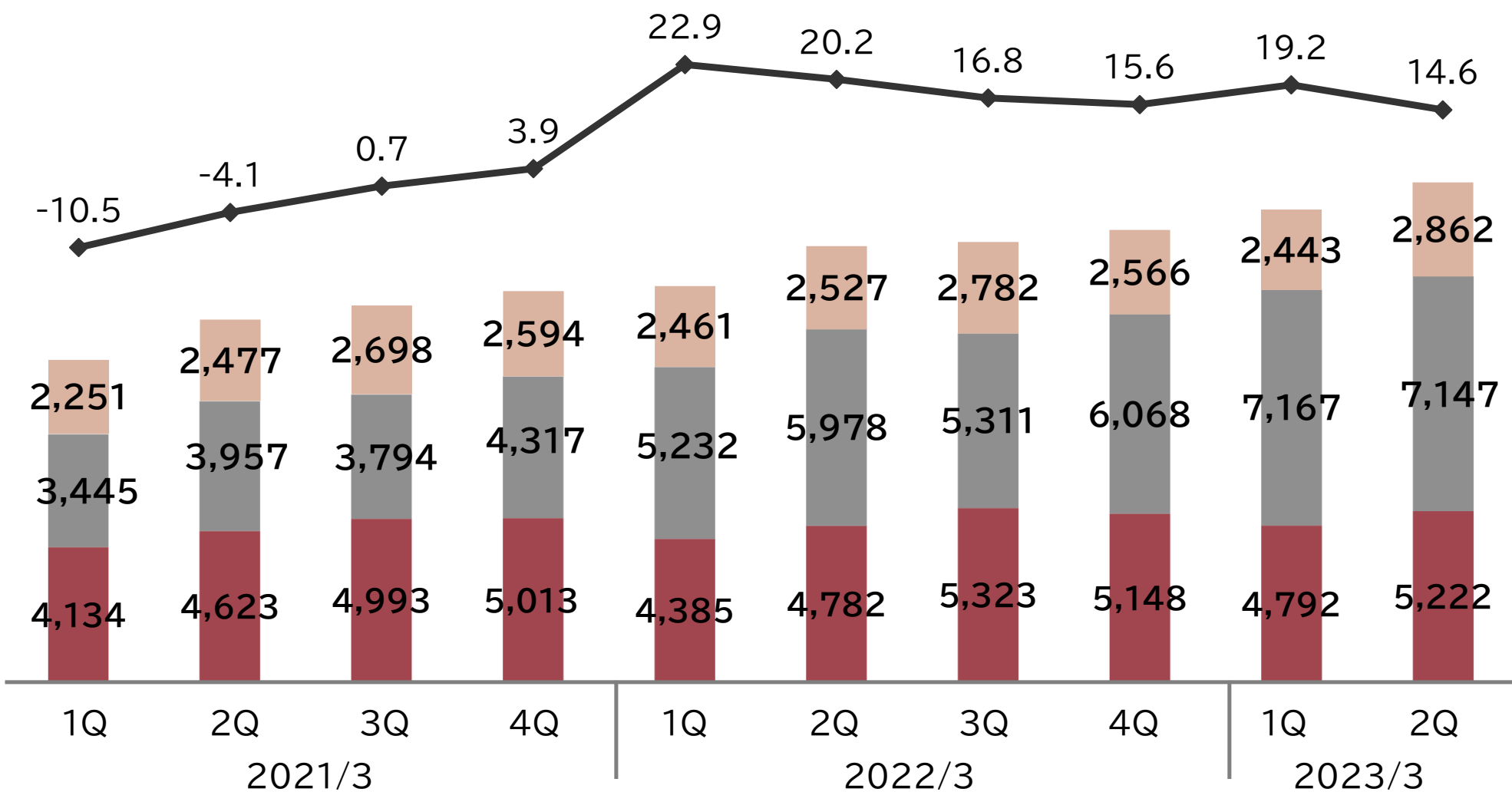
- ▶ 堅調な市況と人手不足の恒常化による機械化需要の高まりを背景として、鉄筋結束機「ツインタイア」及びその消耗品の販売が伸長したほか、木造建築物向け工具の販売も増加しました。

住環境機器事業

- ▶ 主力の浴室暖房・換気・乾燥機「ドライファン」の販売が新築住宅市場向けで伸長しました。

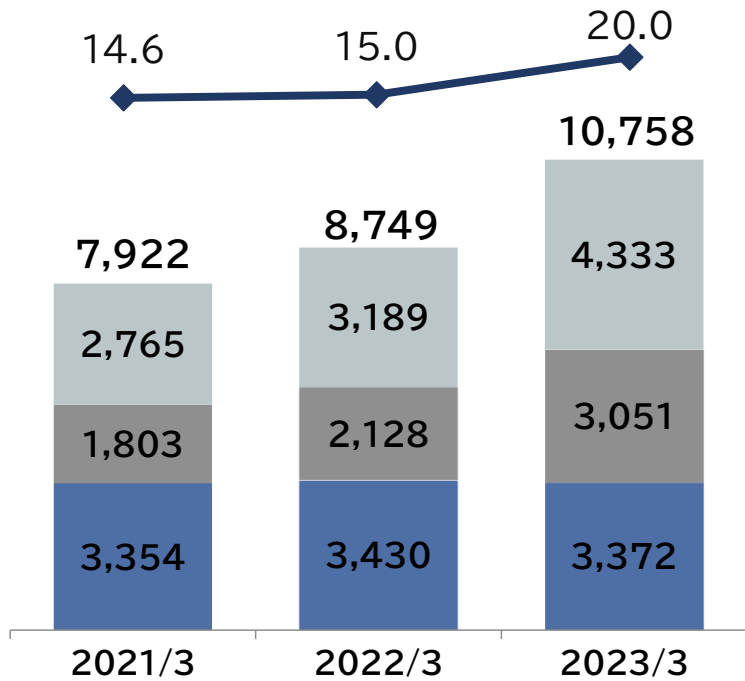
インダストリアル機器部門 四半期別実績推移

■ 国内機工品事業 売上高
 ■ 海外機工品事業 売上高
 ■ 住環境機器事業売上高
 - インダストリアル機器部門 売上高前年同期比伸率 (単位:百万円、%)



オフィス機器部門 2023年3月期第2四半期実績

■ 国内オフィス事業 ■ 海外オフィス事業
 ■ オートステープラ事業 — セグメント利益率
 (単位:百万円、%)



表示作成機「ビーポップ」



ホッチキス 海外モデル

国内オフィス事業

- ▶ 表示作成機「ビーポップ」の販売が増加したものの、電子部品不足の影響によりチューブメーカー「レタツイン」の販売が減少しました。

海外オフィス事業

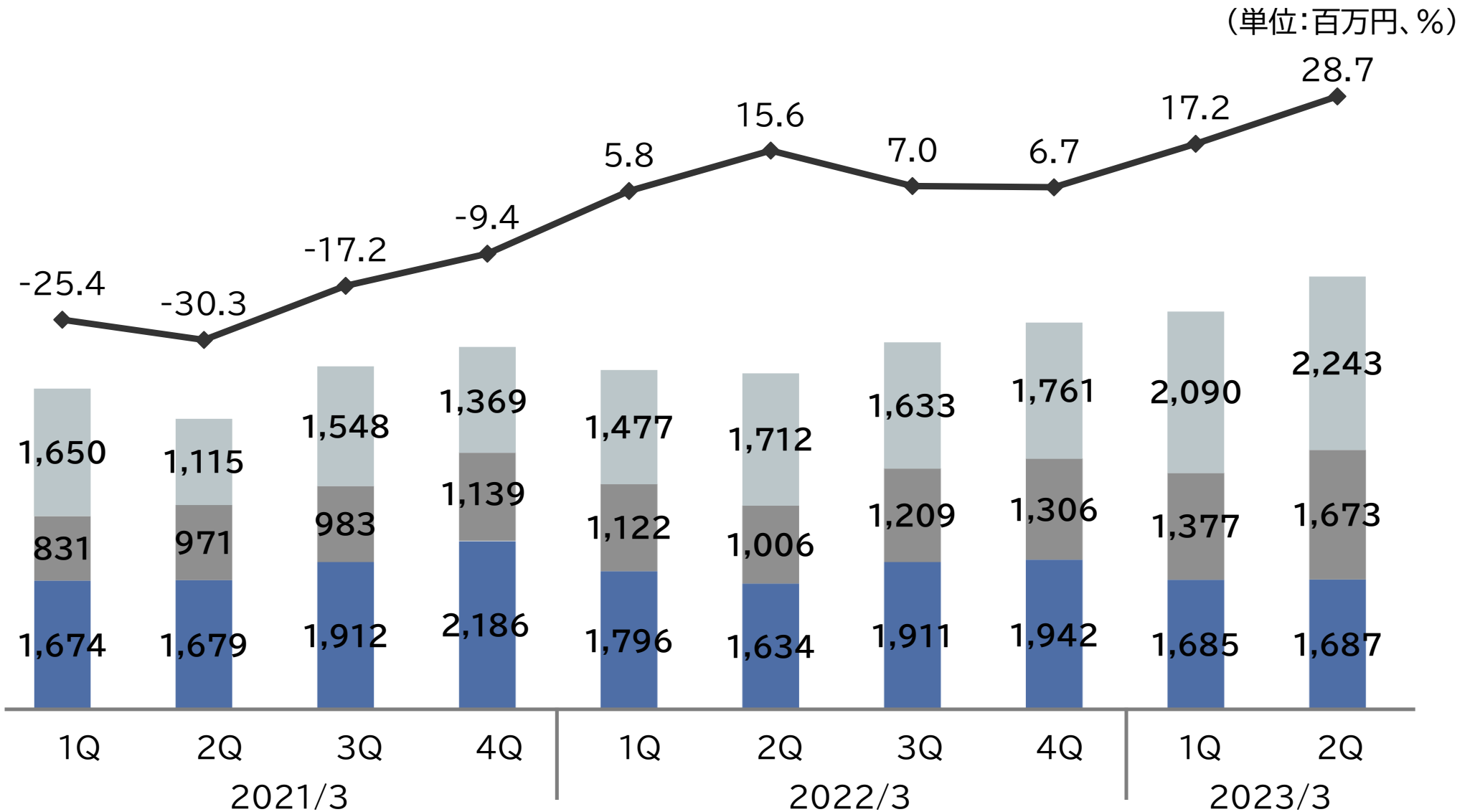
- ▶ 東南アジアを中心に文具関連製品の販売が増加したことに加え、欧州や中国での営業活動の制限緩和により表示作成機「ビーポップ」の販売が好調に推移しました。

オートステープラ事業

- ▶ オフィス稼働率の回復による取引先からの受注増により、機械・消耗品の販売が増加しました。

オフィス機器部門 四半期別実績推移

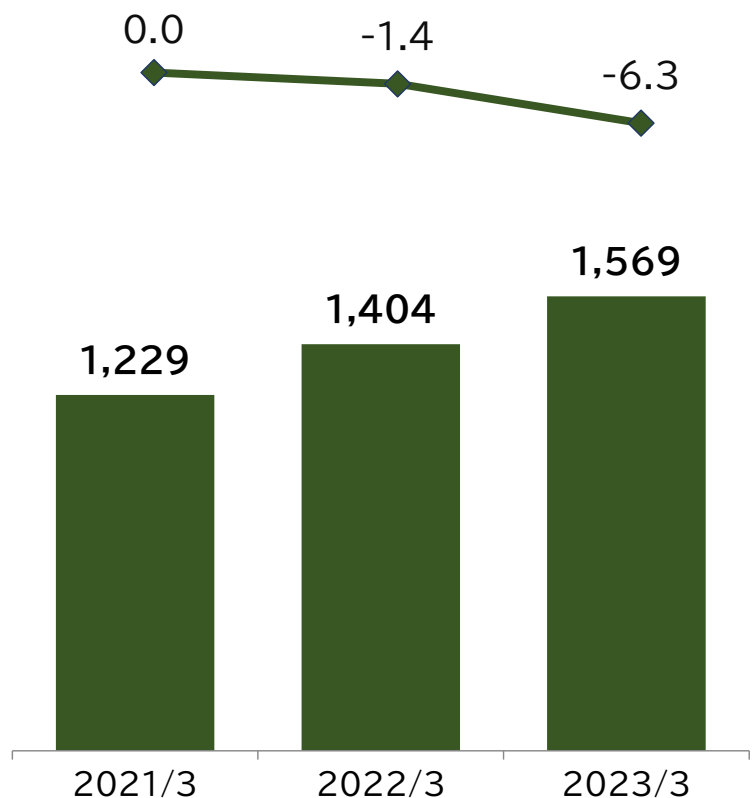
■ 国内オフィス事業 売上高 ■ 海外オフィス事業 売上高 ■ オートステープラ事業売上高
 - オフィス機器部門 売上高前年同期比伸率



HCR機器部門 2023年3月期第2四半期実績

■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



多機能車いす
「モダンシリーズ」



軽量車いす
「ふわりす」

HCR機器部門



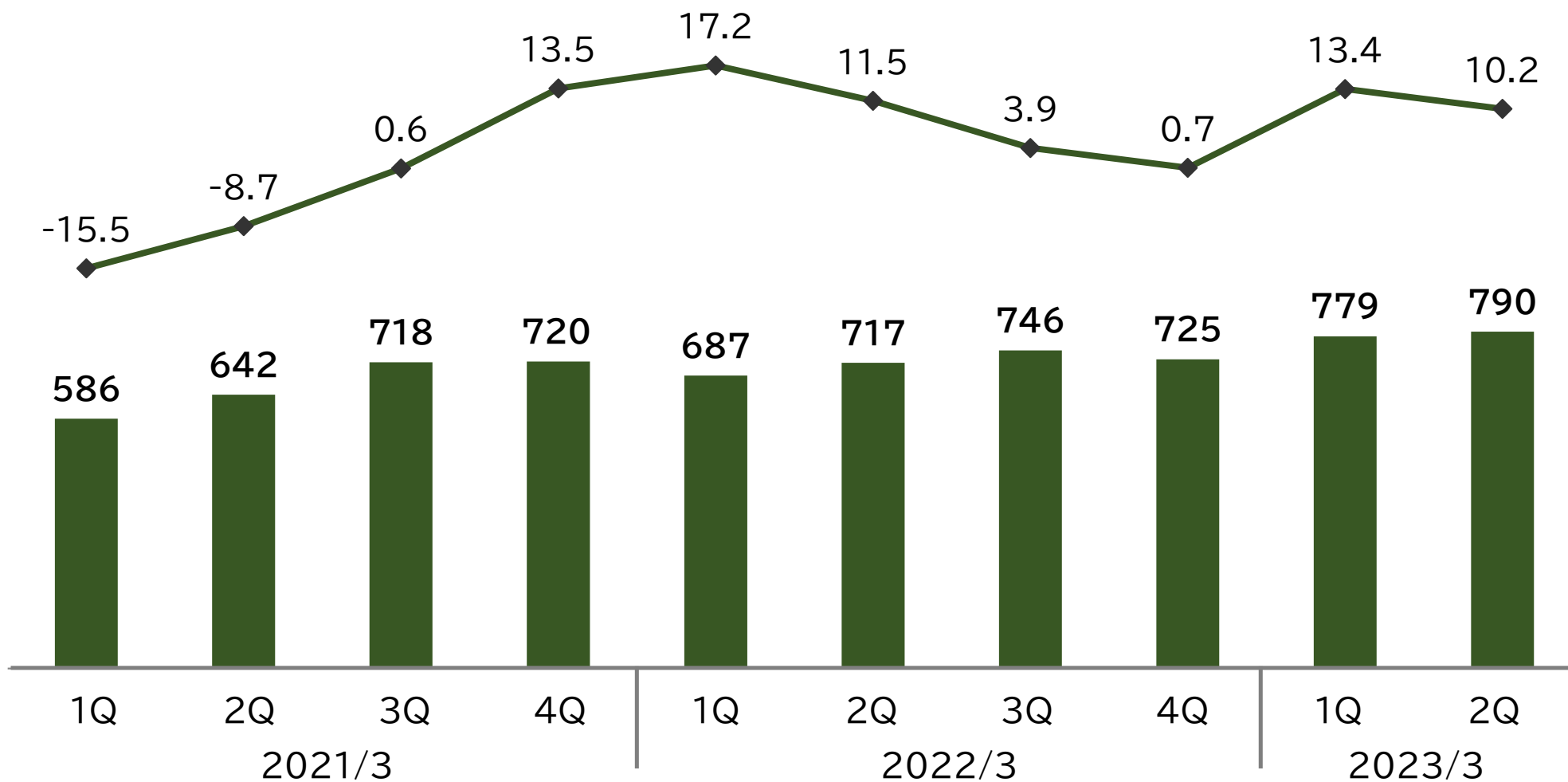
病院・施設など一部で営業活動の停滞は継続しているものの、レンタル卸向けに高付加価値車いすの販売が好調に推移したことから、増収となりました。一方で、円安に推移した為替の影響により、収益性が悪化しました。

HCR機器部門 四半期別実績推移

■ HCR機器部門 売上高

— HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

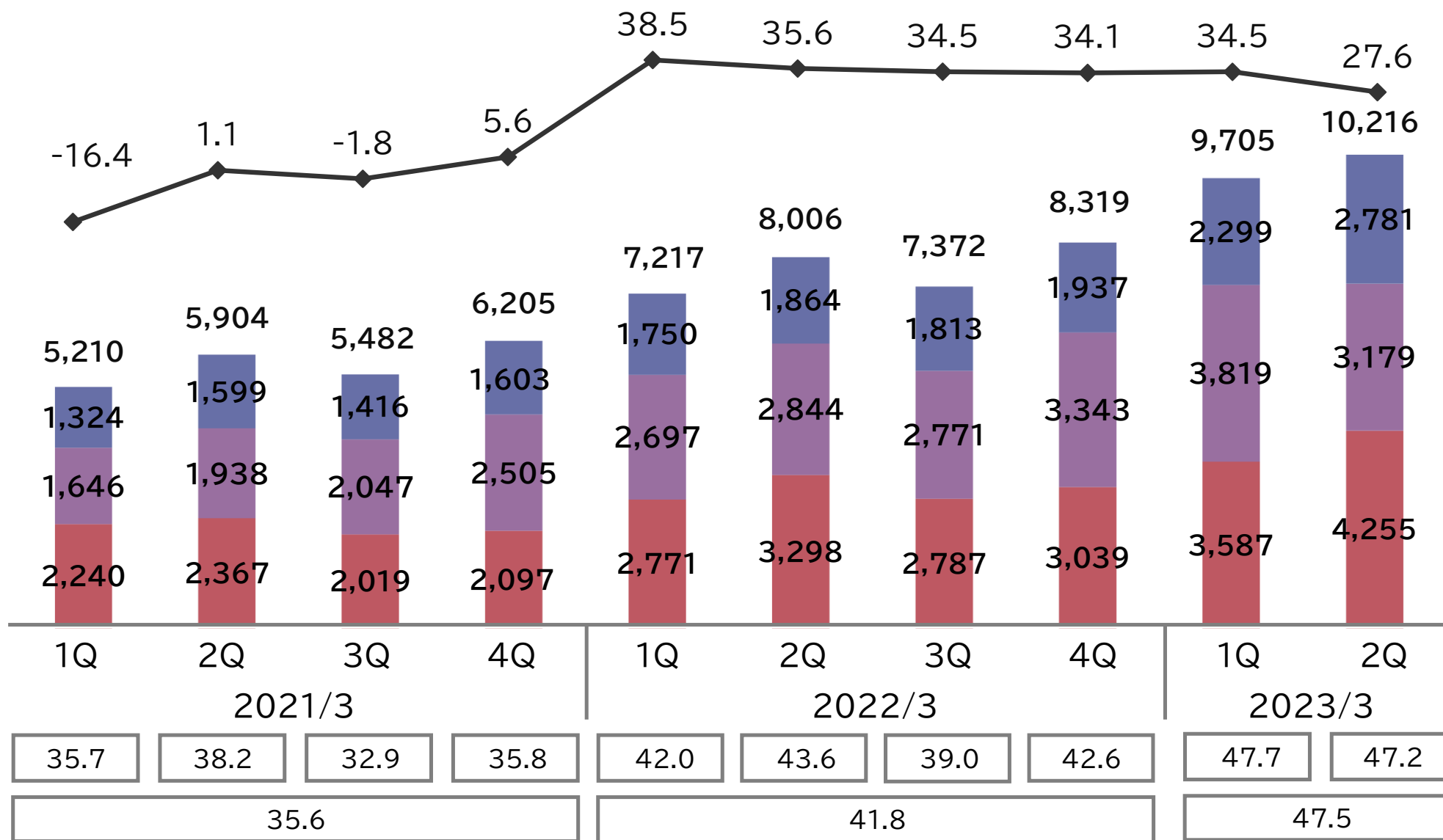
(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別売上高推移

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高
 ■ アジア 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

海外
売上高
比率(%)

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は好調を維持

- ・ 国内・海外コンクリート構造物向け工具売上 **144億円** (前年+26.7%の伸長)(計画に対する進捗率55.6%)
- ・ コンクリートディーラー数 2021年3月期末比 **+43.8%増**

<海外>

[北米]

- ・ 消耗品(タイヤ)の増産と物流停滞の緩和により、消耗品の販売が好調に推移。
- ・ コンクリートディーラーの開拓を引き続き推進、鉄筋結束機事業の伸長に寄与。

[欧州]

- ・ 第2四半期にディーラーの在庫調整はあったものの、上期セールアウトは堅調に推移。
- ・ ディーラーのセールスパーソンへのトレーニングなど、更なる販売力強化に注力。

<国内>

- ・ 現場の人手不足による機械化需要の高まりを背景として、機械・消耗品の販売がともに伸長。
- ・ 土木市場や建築の梁・柱など太い鉄筋への大口径機の提案や、結束箇所が多い壁へのスタンダードモデルの提案など、建築市場と土木市場の双方で普及拡大を図る。

■ TCFD提言への賛同 ※詳細は統合報告書に記載しています。

TCFD(気候変動財務情報開示タスクフォース)提言に賛同することを表明しました。気候変動問題への対応が重要な経営課題の一つであるとの認識のもと、以下の指標と目標を掲げ、温室効果ガスの削減に向けた取り組みを推進していきます。

項目	中長期目標	2021年度実績
SCOPE1、2 カーボンニュートラル	①2030年にCO2排出量を2018年度比50%削減 ②2042年にCO2排出量ネットゼロ(カーボンニュートラル)を達成	14,803t
SCOPE3 カテゴリ11の削減	SCOPE3カテゴリ11(販売した製品の使用に伴う排出量)について、2030年にCO2排出量を2018年度比30%削減	2,506,777t

■ 統合報告書の発行

ステークホルダーの皆さまに当社グループに対する理解をより深めていただくため、統合報告書を初めて発行しました。トップメッセージをはじめ、当社グループの事業領域やその概況、価値創造プロセスやサステナビリティに関する考え方などを記載しています。

「統合報告書2022」は当社Webサイトをご覧ください。

<https://www.max-ltd.co.jp/about/ir/>



MAX

マックス株式会社
統合報告書
2022

■ 環境配慮型製品の開発

環境に配慮したバイオマス素材を配合した製品(消耗品)を発売

植物由来のバイオマス素材を配合し、環境負荷の軽減を図った製品を開発・発売しました。

バイオマスは、持続的利用ができる再生可能資源です。バイオマス素材を配合したバイオマスプラスチックは石油由来のプラスチックに比べて温室効果ガスの発生を抑制できるものとして注目されています。

今後も環境配慮型製品の開発に積極的に取り組み、社会の持続性への貢献と企業価値向上を実現していきます。



詳細はこちらをご覧ください↓

<https://www.max-ltd.co.jp/product/af/>

2023年3月期 業績予想

■為替レート

(円)	当期		前期
	通期想定	下期想定	通期実績
1ドル	133.29	135.00	112.08
1ユーロ	136.60	135.00	130.56

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2022/10/28)	前回計画 (2022/7/29)	差額	前期実績	増減率
売上高	85,400	82,400	3,000	73,958	+15.5
営業利益 同率	9,000 10.5	9,000 10.9	—	7,498 10.1	+20.0
経常利益 同率	9,800 11.5	9,400 11.4	400	8,282 11.1	+18.3
親会社株主に帰属する当期純利益 同率	7,200 8.4	6,800 8.3	400	6,090 8.2	+18.2
1株当たり当期純利益(円)	152.21	143.76	8.45	128.40	
ROE	8.3	8.0	0.3P	7.5	

・ 足元の堅調な業績及び想定為替レートの変更などにより、2022年7月29日に公表した予想値を上回る見込みとなりましたので、通期の計画を修正しました。

2023年3月期 セグメント計画

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2022/10/28)	前回計画 (2022/7/29)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	60,400	58,770	1,630	52,569	+14.9
セグメント利益	8,750	9,200	△450	7,739	+13.1
セグメント利益率	14.5	15.7		14.7	
オフィス機器部門					
売上高	21,850	20,430	1,420	18,513	+18.0
セグメント利益	4,230	3,670	560	3,034	+39.4
セグメント利益率	19.4	18.0		16.4	
HCR機器部門					
売上高	3,150	3,200	△50	2,875	+9.5
セグメント利益	△200	△90	△110	△126	-
セグメント利益率	△6.4	△2.8		△4.4	
調整額	△3,780	△3,780	-	△3,148	
全社計					
売上高	85,400	82,400	3,000	73,958	+15.5
営業利益	9,000	9,000	-	7,498	+20.0
売上高営業利益率	10.5	10.9		10.1	

2023年3月期 サブセグメント(事業別)計画

(単位:百万円、%)

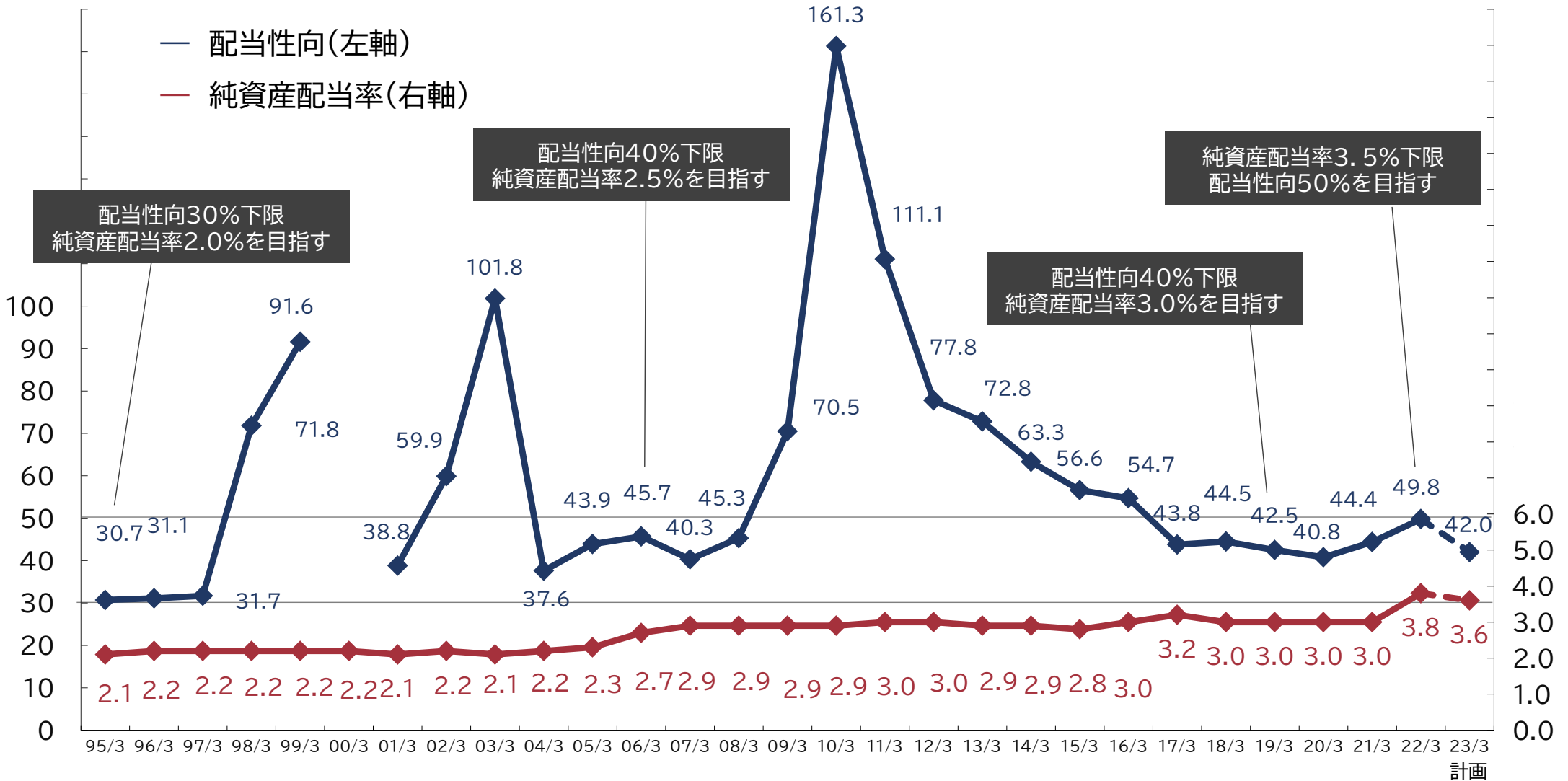
	今回計画 (2022/10/28)	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門			
セグメント売上高	60,400	52,569	+14.9
国内機工品	21,000	19,640	+6.9
海外機工品	28,100	22,590	+24.4
住環境機器	11,300	10,338	+9.3
セグメント利益	8,750	7,739	+13.1
セグメント利益率	14.5	14.7	

	今回計画 (2022/10/28)	前期実績	増減率
オフィス機器部門			
セグメント売上高	21,850	18,513	+18.0
国内オフィス	7,650	7,284	+5.0
海外オフィス	6,000	4,644	+29.2
オートステープラ	8,200	6,584	+24.5
セグメント利益	4,230	3,034	+39.4
セグメント利益率	19.4	16.4	

配当政策 配当性向と純資産配当率

連結決算を基準に「純資産配当率3.5%下限、配当性向50%目標」

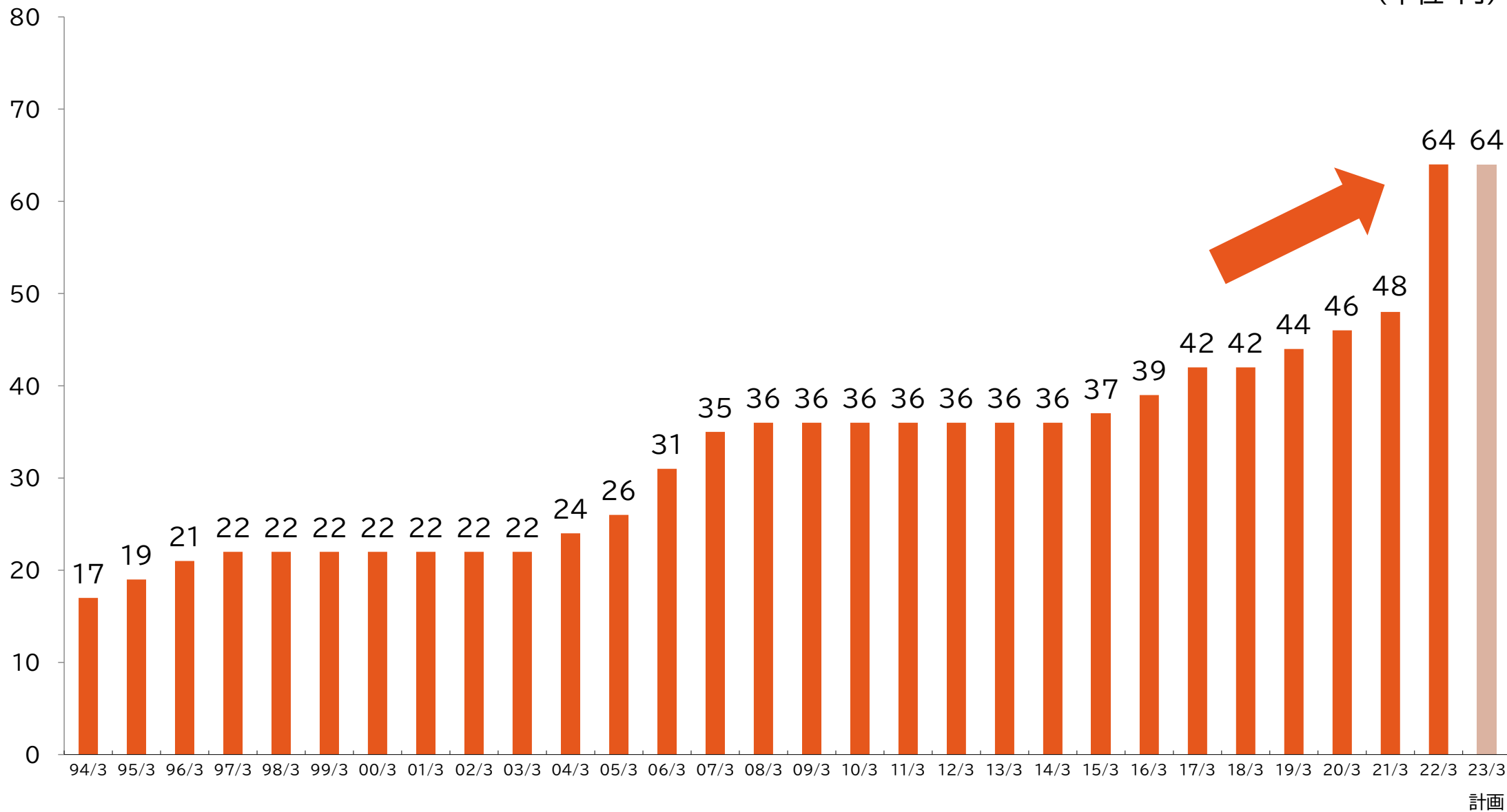
(単位:%)



※2005年3月期までは単独ベースです。

配当政策 1株当たり配当金

(単位:円)

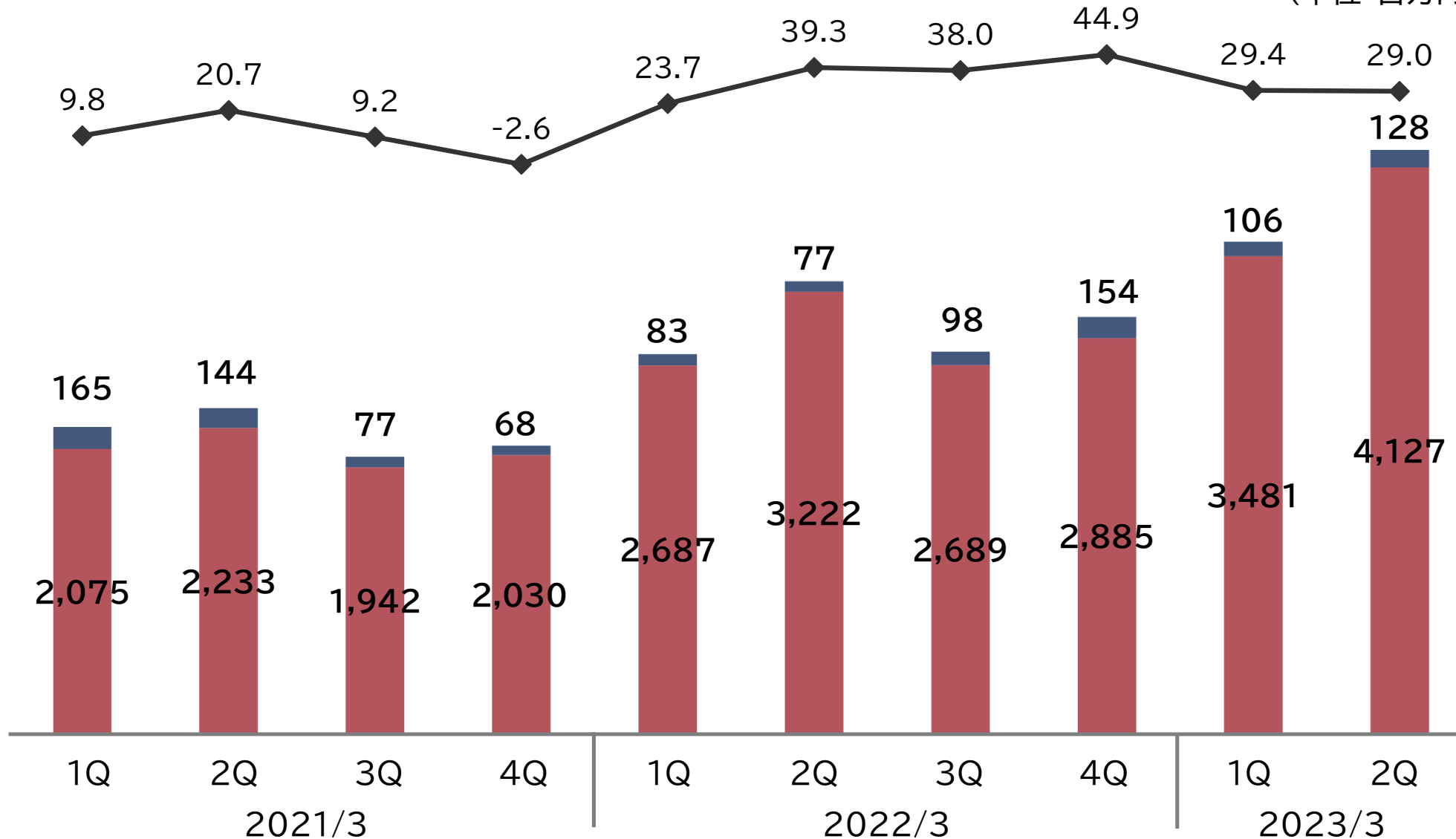


參考資料

四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 北米売上高前年同期比伸率

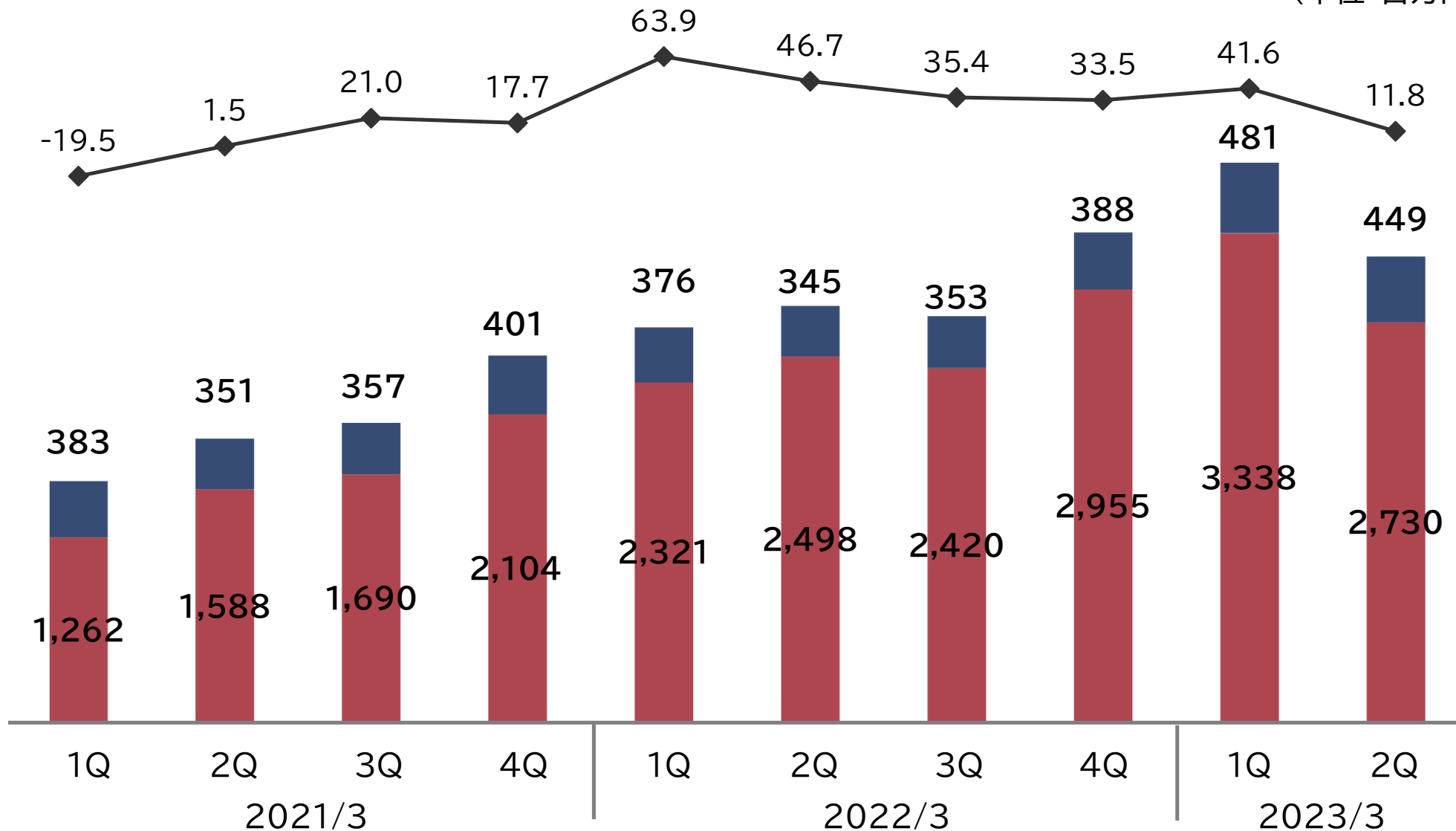
(単位:百万円、%)



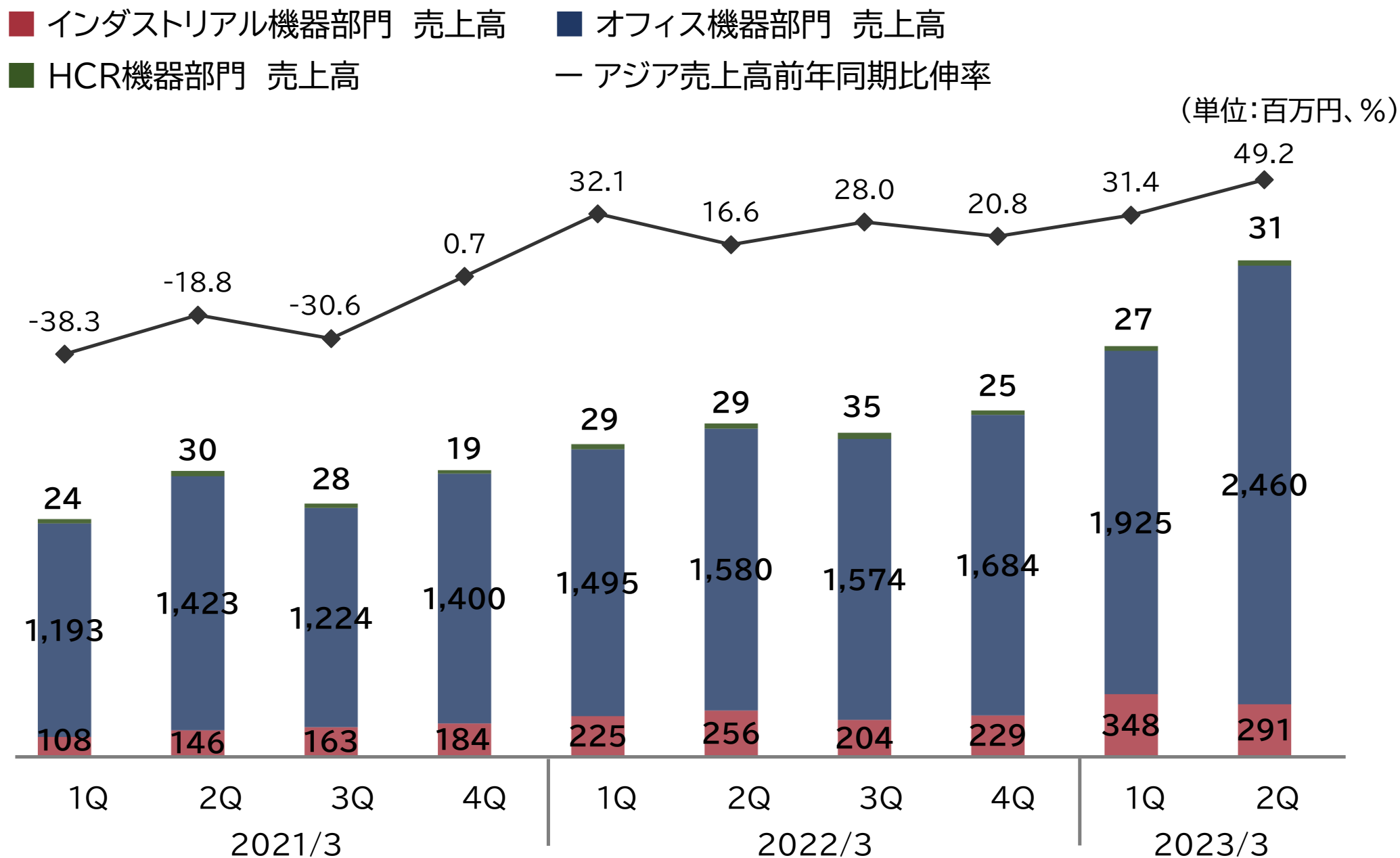
四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)



機工品事業

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインタイア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



オフィス事業

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

タイムレコーダ

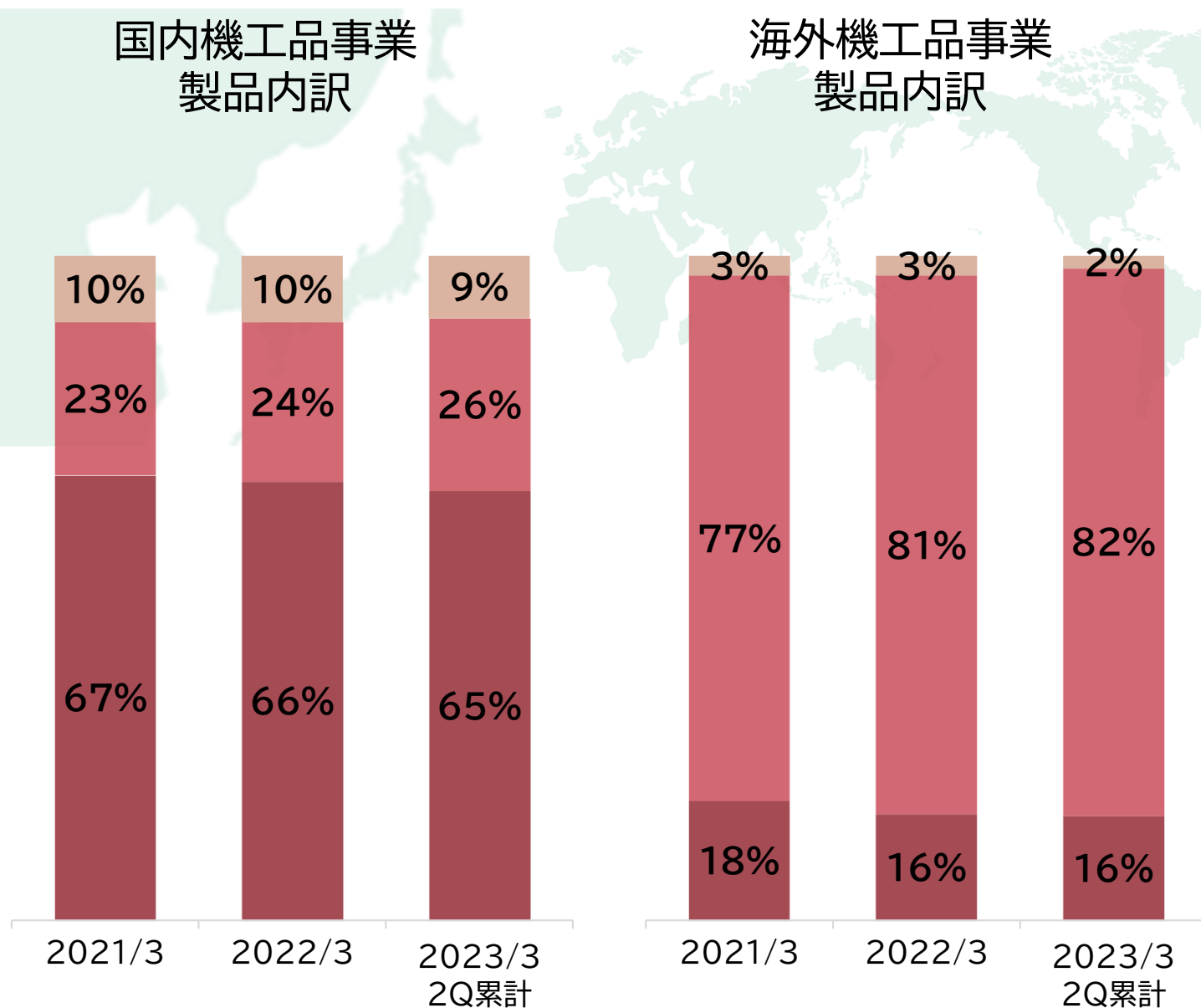


筆耕



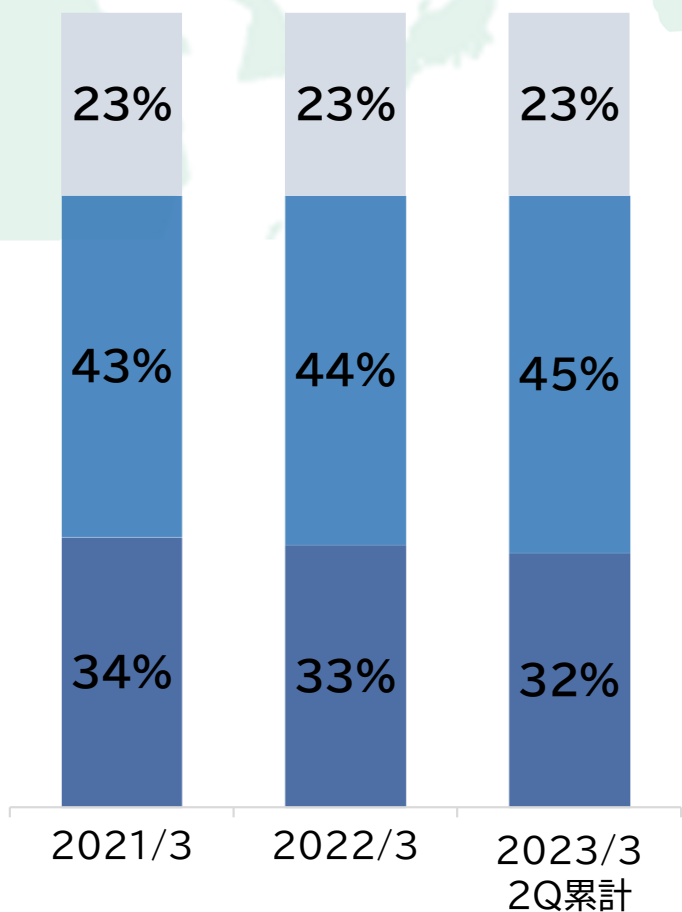
国内機工品事業
製品内訳

海外機工品事業
製品内訳

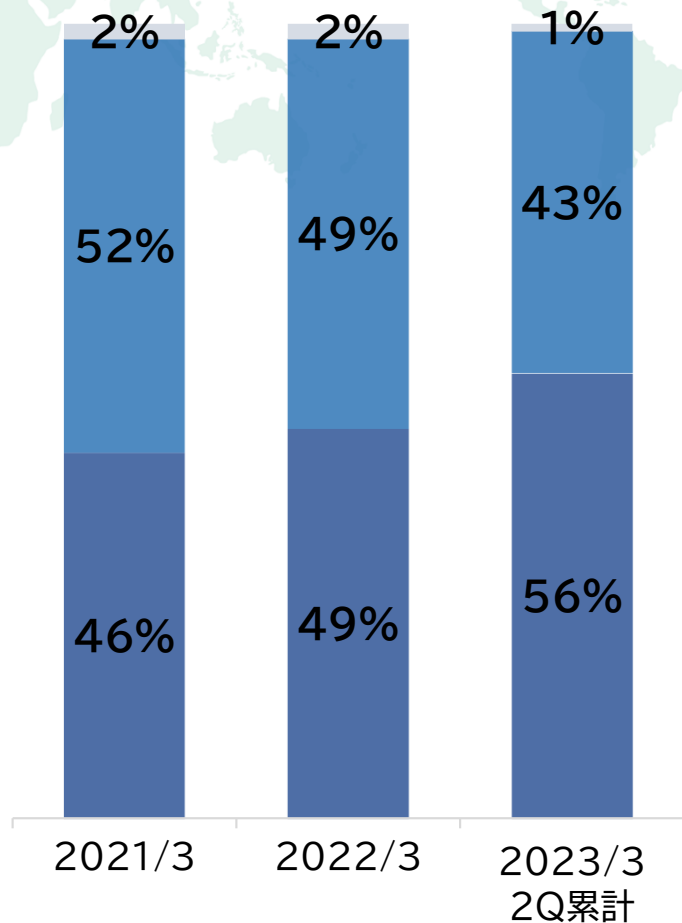


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業 製品内訳



海外オフィス事業 製品内訳



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品

The logo consists of the word "MAX" in a bold, white, sans-serif font, centered within a solid orange rectangular background.The slogan "ENGINEERED FOR PERFORMANCE" is written in a bold, orange, sans-serif font. It is positioned between two curved, orange, brushstroke-like lines that sweep upwards from the bottom and outwards to the sides.

本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。予めご承知おきください。